

# 平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：生産振興課  
 担当名：総務・野菜担当  
 内線：4082

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B31	新たな農産物需要創出支援事業			一般会計	農林水産業費	農業費	園芸農産振興費	埼玉園芸生産力強化支援費	
事業期間	平成29年度～平成31年度	根拠法令	なし				宣言項目 09 儲かる農業の推進		
							分野施策 040937 強みを生かした収益力ある農業の確立		
<b>1 事業概要</b> 少子・高齢化の進行に伴い農林水産物の需要の減少が見込まれる中、県産農林水産物の新たな需要の創出が課題となっている。そのため、農業者、流通業者、飲食業者、県機関等が連携して「地域食材を活用したニッチなフード・ビジネス」を展開し、実需者の需要に対応した生産に取り組む「地消地産」を進める中から県産農林水産物の新たな需要の創出を図る。 (1) 新たな農産物需要創出支援活動 執行節減による需用費等の減 $\Delta 581$ 千円 (2) 新たな農産物需要創出整備事業 補助金の要望が見込みを下回ったことによる減 $\Delta 2,000$ 千円				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 新たな県産農林水産物の需要の創出を図るため、以下の取組を行う。 ア 新たな農産物需要創出支援活動 4,365千円 農業者、流通業者、飲食業者、県機関等が連携して「地域食材を活用したニッチなフード・ビジネス」を展開するため、以下の取組を行う。(12地区) (ア) 導入する新たな作物等の選定に関するアドバイス (イ) 新たな作物等に関する栽培特性等の調査及び情報提供 (ロ) 土壌分析等に基づく栽培適地の選定や土壌改良等の指導 (ハ) 地域に適した栽培体系の確立支援(栽培展示ほの設置、試験栽培の指導等) (ニ) 収穫物の商品性評価(収量や貯蔵性の確認、成分分析等) (ホ) 広域的な販売に向けた販促PR活動の支援 イ 新たな農産物需要創出整備事業 2,000千円 新たな需要の創出に取り組む品目の生産拡大、流通の改善等に必要な機械・施設等の整備に対する助成。(2地区) (2) 事業計画 ア 新たな農産物需要創出支援活動 3カ年継続(H29～H31) 12地区 イ 新たな農産物需要創出整備事業 3カ年実施(H29～H31) 2地区/年 (3) 事業効果 県産農林水産物の新たな需要の創出 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 事業実施主体、市町村との連携による推進 (5) 補正予算の概要 ア 新たな農産物需要創出支援活動 執行節減による需用費等の節減を図ったことによる減額。 イ 新たな農産物需要創出整備事業 補助金の要望が見込みを下回ったことによる減額。					
<b>2 事業主体及び負担区分</b> (1) (県10/10) (2) (県1/2)市0・生産者団体等1/2									
<b>3 地方財政措置の状況</b> なし									
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> $9,500$ 千円 $\times 1.0$ 人 = $9,500$ 千円									
財 源 内 訳									
予算額		諸 収 入						一般財源	補正後の 予算額
決定額	$\Delta 2,581$							$\Delta 2,581$	3,784
現計額	6,365	1						6,364	